

DX化支援研修サービス 生成AI定着編

生成AIの進化と助成金制度を追い風に
今こそ、企業にとってAI人材育成を行う絶好のチャンスです

ヴィックスゼロ

会社概要

- 会社名: 株式会社ヴィックスゼロ
- 所在地: 〒150-0043
東京都渋谷区道玄坂2丁目10番12号
- 事業内容: 研修事業 DXコンサル事業
- 資本金: 300万円
- 設立: 2014年9月1日
- ホームページ:<https://zero-2014.com/>

ご提案の概要

本プログラムのポイント

① AI活用とビジネス基礎力が同時に身につく

- ・ ツールの使い方だけでなく、情報整理・会議運営・業務設計・思考法などの「仕事の基本」も並行して学べる構成。
- ・ AIスキルとビジネス基礎力が自然と結びつき、実務で成果につながる。

② 現場に“定着する”AI活用を学べる

どれだけ優れたAIでも、使われなければ意味がありません。
本コースでは、「選ぶ・使う・育てる・定着させる」という一連の流れを理解し、現場で継続利用されるAI活用の仕組みづくりを習得できる。

③ 情報・業務を整理し、生産性を最大化する思考が身につく

Notionでの情報構造化や、自動化すべき業務の見極めなど、“仕組みで仕事を楽にする”能力を育てる。個人だけでなく、チーム全体の生産性向上につながる視点を習得。

④ AIを「安全に・賢く・戦略的に」使いこなす力が身につく

AIの仕組みや特性を理解し、適切な指示設計やリスク管理まで学べる。NotebookLMやChatGPTなど生成AIを“思考の相棒”として使いこなし、意思決定や創造的業務の質を高めることができる。

はじめに

本コースは、「生成AIを正しく理解し、業務に根付かせ、成果につなげる」ために必要な知識・スキル・思考法を、ストーリー形式の学習体験として習得できるよう設計された研修プログラムです。単なるツールの使い方にとどまらず、AIをどのように選び、使いこなし、育てていくか情報をどのように整理し、チームで共有し、生産性につなげるか自動化すべき業務をどう見極めるかAIとの協働を通じて、どのように仕事を進化させていくかといった、ビジネス現場で必ず必要となる思考とスキルを総合的に身につけられる構成になっています。
また各章では、生成AIの活用と並行して、映像制作・会議運営・情報設計・業務設計といった仕事の基礎力も自然に伸ばせる内容となっています。

ゴール

本コースを修了することで、受講者は「AIを理解し、活かし、共に成果をつくる人材」へと進化します。さらに、仕事の進め方、情報整理力、コミュニケーション、自動化設計、思考の構造化といった業務の基礎力も総合的に向上し、部署・チーム全体の生産性向上と、継続的なAI活用文化の定着につながります。

本プログラムで学ぶAI

ChatGPT／NotebookLM／DALL·E／Gemini／Midjourney
Adobe Firefly／HeyGen／Sora／Suno／Voicepeak／Mapify
Napkin AI／イルシル／Canva／CapCut／Premiere Pro
Notta／Claude／tl;dv／NotionAI

なぜ今 AI研修なのか



ChatGPTの登場

この1~2年で生成AIの利便性が圧倒的に向上しました。



デジタル人材育成

デジタル人材の育成は、今や企業にとって最重要課題です。



国の支援

国は500億円規模の予算を投じて、人材育成を支援しています。

こんな法人様に ご利用いただいています



AIは使っているけど使いこなせているか不安

主に複数の生成AIの掛け合わせについて学びます。



最近、業務が忙しくて余裕がない

AIで業務効率化で、時間とリソースを最大化。



現場で使える AIスキルを習得したい

実践的なAIスキルを短時間で習得し、即戦力に

研修内容-当社の教材が選ばれる理由

単に生成AIを学ぶだけで終わらせず、自分の仕事にも活かせる！という実感を持ち帰ることが可能です。

01 理解しやすい内容構成

共感もてるストーリーの採用により、AI活用のイメージが伝わり、実践で使える

02 目的に応じて選べるコース

実務で活かせるスキル習得のため、目的別に最適コースを用意

03 直感型LMS

多くの受講者様から直感的で分かりやすいと高く評価されており、安心して利用できる

生成AI定着編

主に学び、
習得できること



AI活用とビジネス基礎力が同時に身につく

現場に“定着する”AI活用を学べる

情報・業務を整理し、生産性を最大化する
思考が身につく

AIを「安全に・賢く・戦略的に」
使いこなす力が身につく

本研修のストーリー部分の特徴

収録ストーリー概略

本コースは、AI活用・業務効率化・情報設計・リスク管理を横断的に学び、AIを“現場で使える力”として定着させるための総合実践型プログラムです。

構成の工夫

従来の研修課題

内容が硬すぎる

頭に入っていない

活用シーンを想像できない

当社のDX化支援研修サービス

興味喚起

擬似体験

実体験

発見・想像

一般的な研修でありがちな飽きやすい、活用につながりにくいといった課題を解消するため、受講者が実際の活用イメージを描きやすい工夫を随所に取り入れました。結果として、楽しみながら自然にスキルの応用力が身につく内容となっています。



そして、生成AIをどう使えば業務に役立ち、さらに組織に定着させられるのか——その道筋を一緒に考えていきます

難しい理屈だけじゃなく、すぐに試せるヒントもたくさん紹介していきますからね！



定着においては“モニタリング”、つまり経過観察も大事だと思うんです

分かりやすいです！専門用語が多い内容なのに、イメージがすっと入ってきました。



学ぶだけでなく

「自分の仕事に活かせる！」を

実感できるストーリー



各章で学べるAIと活用方法

全6章構成
標準学習時間：約12時間20分
全動画 120日間見放題

1章

【章の目的】

・最新の生成AIを活用した映像制作の基本を学ぶ。

【学べる事】

・映像（動画・画像）を活用し業務にどのように活かせるか複数の事例とともに身につけられます。

2章

【章の目的】

・議事録系生成AIを正しく理解し、効果的に活用するための基本を学ぶ。

【学べる事】

・議事録を作る目的含め、Nottaなどのツールを活用した効率化、AIの効果を最大化する方法を身につけられます。

3章

【章の目的】

・チームの生産性を「Notion」を活用して最大化するための情報活用方法を学ぶ。

【学べる事】

・Notionを活用した情報をまとめてつなげる方法を理解し、チームの生産性を高める情報管理術を身につけられます。

4章

【章の目的】

・ChatGPTの実業務への定着方法とその業務設計方法を学ぶ。

【学べる事】

・ChatGPT×業務の自動化（マクロ）を通じて、基本的な業務設計を、併せて自動化に伴うリスク管理を身につけられます。

5章

【章の目的】

・ChatGPTの仕組みと特性を理解し、思考を拡張するパートナーとして活用する方法を学ぶ。

【学べる事】

・ChatGPTを正しく使いこなし、仕事を加速させる相棒へ育てるための考え方と活用スキルを身につけられます。

6章

【章の目的】

・NotebookLMを、自分だけのノートとして活用できるよう、セキュリティ面の説明をしっかりと加え、安心して活用する方法を学ぶ。

【学べる事】

NotebookLMの活用事例と、登録する資料によって回答がどう変わるかを理解し、将来的な活用イメージまで掴めます。

LMS機能付きプラットフォームについて

01直観的に 分かりやすいデザイン

お客様からも「直観的に
分かりやすい」という評価を
多数いただいでいて安心です

02結果の管理

受講者ごとの学習進捗はもちろん
視聴日時の記録をCSVデータで
出力が可能です

03飛ばし見防止機能付き

受講者にしっかり学んで頂くため
初回のみ飛ばし見防止が
作動する設計です

04受講完了後の 修了証明書発行機能付き

受講を完了した証として
修了証明書が発行されます



受講料金・サービス料金

生成AI定着編

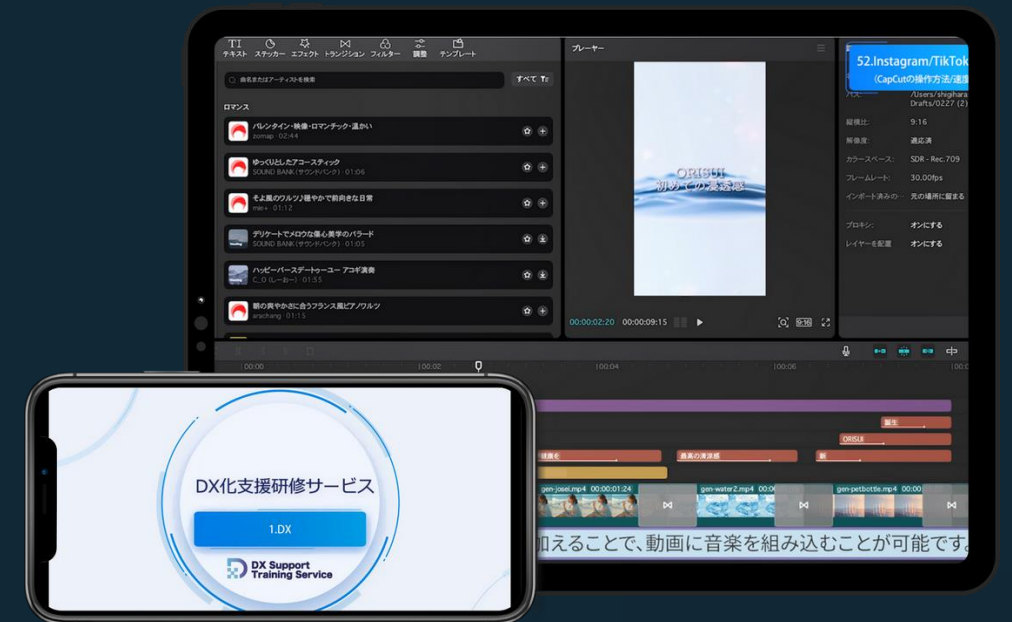
1人：33万円（税別）

AIの利活用に特化した研修をパッケージ化しLMS機能（学習管理システム）を有したeラーニング動画形式です。動画視聴後は日常業務にAIを取り入れて取り組む事が容易となり、貴社の業務効率化を強力にバックアップします。

全6章構成

標準学習時間：約12時間20分

全動画 120日間見放題



利用できる助成金の基本情報

助成金を活用することで、研修費用の負担を大幅に軽減。
企業がAI人材育成に取り組む絶好のチャンスです。

対象の助成金：人材開発支援助成金
事業展開等リスクリング支援コース

01

助成金の対象

新たな商品サービスの提供
や新分野進出、DX化による
業務効率化が対象です。

02

年間最大助成額

1事業あたり1億円

03

年間最大助成額

中小企業75%
大企業60%と高い助成率

04

従業員1人あたりの
経費助成限度額

研修10時間～100時間
の場合の中小企業30
万、大企業20万

助成率・助成額

助成金の活用：厚生労働省の「人材開発支援助成金事業
展開等リスクリング支援コース」の申請が可能です

研修費用の最大75%が助成金として支給されるため
実質的な費用負担が軽減

助成金を利用しない場合
33万円/人（税別）

33万円/人



The diagram consists of two vertical rectangular boxes connected by a large arrow pointing from left to right. The left box is a solid dark grey and contains the text '33万円/人'. The right box is divided into two horizontal sections. The top section is a lighter grey and contains the text '研修費用を最大75%削減できます (-247,500円)'. The bottom section is a darker grey and contains the text '82,500/人'.

研修費用を最大75%
削減できます
(-247,500円)

82,500/人

※大企業は最大60%の助成となります (-198,000円)

ご契約から助成金入金までの流れ



THANK YOU

AI使えていると思う→AI使えている！に変える
生成AIの進化と政府の助成金制度を追い風に今こそ、
企業にとってAI人材育成の絶好のチャンスです。